

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 421 号	氏名	富田 元
学位審査委員	主 査	平野 明喜	
	副 査	松山 俊文	
	副 査	宮崎 泰司	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、創傷治癒過程で重要な役割を果たすセレクチンのリガンドのひとつである P-selectin glycoprotein ligand-1 (PSGL-1) の働きと各セレクチンの関与を明らかにすることを目的としたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 PSGL-1、E-セレクチン、P-セレクチンの欠損マウス、および抗 E セレクチン抗体を用いて、創の状態、炎症細胞浸潤、各種成長因子などを肉眼的、病理組織的、免疫染色的に観察を行い、さらに、RT-PCR を用いて測定と統計学的解析法により解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、創傷治癒において PSGL-1 は主に P-セレクチンのリガンドとして働き、一部は E-セレクチンのリガンドとして働くことで炎症細胞浸潤を調節していることを明らかにし、今後の創傷治癒学への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は創傷治癒研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			